

# 広報ふじ

昭和 39 年 1 月 1 日 発行

定価 1 部 2 円

市勢の動き	
(98.12.1現在)	
面積	30.55平方町
人口総数	51,421人
男	26,197人
女	25,224人
世帯数	11,190世帯



とじ込んで保存して下さい

昭和三十九年の新春を迎え、謹んで各位のご健康とご多幸をお祈りいたします。昨年は国際的にも、国内的にも誠に多事多難な一年間でもございました。高度経済成長政策によつて進められた政府の諸施策も、旧うら来、消費者物価の上昇、所得格差の不均衡等の問題となつて現われ、経済の健全性と、国民生活の向上を阻害することのないよう、どう措置するか当面の重要課題となつてまいりました。

さて、当富士市政にとりましても、昨年は実に多難な年でもございましたがいま一々これを回想することは割愛させていただきます。

希望に満ち溢れた新春とはいえ、昭和三十九年の富士市政は、誠に重大な転機にたつ年であると申しても過言でないと思ひます。即ち、まず昨年七月当市は東駿河湾工業整備特別地域に指定され、目下策定中の幾つかの主要事業は、大巾な公共

、実施の運びに至つております。国鉄新幹線は、新春早々完工いたすのであります。ようし、引き続き東名高度自動車道路建設は、本年いよいよ用地買収の段階に進んでまいります。工業立地に欠くことのない水資源については、永年の苦悩が報いられ、桜咲く四月には富士川用水の通水が見られることと存じます。これらの重要事業の外に、駅南・駅北の都市改造事業も施工いたさねばなりません。特に道路行政は前年に引き続き舗装を重点的に取上げておる所存であります。

また学校施設の改善はもとより、住宅の建設、じん芥焼却場の新設（更新）等も本年は是非いたしたいと思つております。特に本年は、昭和二十九年三月三十一日旧富士町・田子浦村・岩松村の一町二村が合併し、その名も「富士市」として誕生いたしましたから満十年を迎えます。幾多先輩各位の努力によつて育てられた市政の歩を回顧し、これらの入々に感謝の誠を捧げ、今後急速に進展する市勢に対処するための記念式典を行う考えであります。この記念事業としての総合文化センターの建設こそ、是非とも実現いたしたいと思つております。

しかしながら、国の減税政策の影響を受け、財政収入は意の如くならない反面、緊急を要する財政支出は年毎に増大する現下の市の財政運営は、まことに容易ならざる状況でございます。けれども私には、一大決意を以つてこの困難な時期を克服し、市民各位のご期待に添えてまいりたい想いで一杯でございます。市政はひとり私ども当局だけの力では如何ともなし得ません。市民各位の代表たる市議会はよとより、全市民一人一人のご支援、ご協力をいただきたく、衷心より懇願申し上げます。

茲に昭和三十九年の新春に当り、所感の一端を述べ各位のご健康とご一家のご繁栄を、心から祈念して私の挨拶といたします。



富士市長 漆畑 五 六

## 新春を迎えて